

# 平成 27 年度 公益財団法人江副記念財団 事業計画書

(自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日)

## 1. 事業方針

公益法人としての社会的使命を果たすため、学術や芸術、スポーツの領域で世界を舞台に活躍することが期待される若者を支援し、これらの支援を通じて将来、世界で活躍する人材が各分野に存在する状態を目指していく。

上記の実現に向けて平成 27 年度は以下の 3 点を推進する。

### ・奨学生人数の拡大

従来の 3 領域（器楽・声楽、クリエイティブ、スポーツ）での奨学生人数の増加とともに、学術系奨学生の採用についても実現を目指し、30 人規模の奨学生体制となる事を目指す。

### ・助成金事業の拡充

平成 26 年度より開始した団体・個人等への助成金給付事業について、奨学金事業を行う領域を対象として金額、件数の充実を目指す。

### ・奨学生の活動支援

奨学生同士の交流促進を図り、お互いに刺激しあいながら切磋琢磨できるような支援をイベントや IT 技術を利用して行っていく。

## 2. 事業計画

(当財団は公益目的事業 1 (学術、芸術、スポーツの分野における人材育成のための奨学援助・助成事業) のみであり、以下の事業計画は全て公益目的事業 1 に属するものである)

### (1) 奨学金給付事業

平成 27 年度は下記の領域を対象に奨学金の給付を行う。

給付期間は各領域とも 1 年間とし、更新を希望する場合は更新審査を行い、期間中の取組みや成長について検討し審査する。

【対象領域】

器楽・声楽	器楽（ピアノ、ヴァイオリン、チェロ）および声楽の演奏に秀で、海外での研鑽を目指すもの。
クリエイティブ	グラフィックデザイン、写真の技術に優れ、海外での研鑽を目指すもの。
スポーツ	競技成績が優秀で、2020年オリンピックでの活躍が期待される高校生・大学生年代のアスリート。 平成27年度は以下の競技を対象とする。 ボート、ウェイトリフティング、アーチェリー、ボクシング、トライアスロン、カヌー、トランポリン、ライフル射撃、セーリング、自転車競技、バドミントン
学術（新設）	人格に優れ、海外の世界的な研究機関、教育機関での学びの機会を目指すもの。 学術系については下半期からの給付開始を目指す。

【計画人数と計画金額】

（単位：人・千円）

		平成26年度	平成27年度		（参考）平成28年度		（参考）平成29年度	
		見込み	人数・予算	前年比	計画	前年比	計画	前年比
器楽・声楽	人数	8	12	150.0%	12	100.0%	12	100.0%
	金額	21,955	36,200	164.9%	37,200	102.8%	37,200	100.0%
クリエイティブ	人数	0	1	—	2	200.0%	2	100.0%
	金額	0	2,720	—	5,700	209.6%	6,000	105.3%
スポーツ	人数	10	12	120.0%	12	100.0%	12	100.0%
	金額	24,494	29,000	118.4%	28,800	99.3%	28,800	100.0%
学術系	人数	—	5	—	10	200.0%	15	150.0%
	金額	—	7,580	—	30,000	395.8%	45,000	150.0%
合計	人数	18	30	166.7%	36	120.0%	41	113.9%
	金額	46,450	75,500	162.5%	101,700	134.7%	117,000	115.0%

【付随事業】

（奨学生募集および選考：6,000千円）

奨学生採用の為の募集広報活動、および選考委員会の実施、選考委員への報酬等。

（成果発表会：16,900千円）

奨学生の日頃の研鑽の成果を発表する成果発表会を開催する。

平成27年度は12月23日（水）、および12月25日（金）に紀尾井ホールにて開催予定。

(入学卒業祝賀会：3,000 千円)

平成 27 年度の奨学生の認定証の授与式、ならびに奨学金給付が終了した奨学生に対する記念品授与式の開催。

平成 27 年度は 7 月にリクルート銀座 8 丁目ビルで開催予定。

奨学生 OB・OG、理事、評議員、選考委員、財団関係者にも出席を呼びかけ親交を深める機会とする。また、財団の 1 年の活動や、今後の方針等を共有する場としても活用する。

(広報活動①機関誌の発行：1,000 千円)

機関誌「軽気球」の発行。

現役奨学生および国内外の OBOG からのメッセージを掲載し、現役奨学生に対する応援喚起や交流の促進を図るため、全奨学生・奨学生 OBOG・財団関係者に配布する。

(広報活動②ホームページ、SNS での広報：4,900 千円)

財団のホームページ、およびフェイスブック等の SNS メディアを通じて現役奨学生の活動を紹介し、奨学生同士の交流促進、奨学生に対する応援喚起を行う。

(その他の事業：4,100 千円)

当財団の事業目的に沿った学術、芸術、スポーツの分野での活性化、振興につながる支援の在り方について調査研究を行う。

## (2) 助成金給付事業

奨学金給付と同様、『器楽・声楽領域』『クリエイティブ領域』『スポーツ領域』『学術系領域』の 4 領域を対象に、助成金の給付事業を行う。

助成の対象となる事業は以下の事業に対して公募を行い、選考委員会の答申を受け、理事会にて決定する。

- ・国内大会・コンクールへの助成
- ・人材育成を目的とした研修等の活動を行う団体等に対する助成
- ・学術、芸術、スポーツに秀で、国内外で活動し研鑽を積む者に対する助成

【計画金額】

(単位:千円)

	平成26年度 見込み	平成27年度		(参考)平成28年度		(参考)平成29年度	
		予算	前年比	計画	前年比	計画	前年比
器楽・声楽	1,700	200	11.8%	10,000	5000.0%	10,000	100.0%
クリエイティブ	0	5,000	—	10,000	200.0%	10,000	100.0%
スポーツ	0	5,000	—	10,000	200.0%	10,000	100.0%
学術系	4,226	40,000	—	50,000	125.0%	60,000	120.0%
合計	5,926	50,200	847.1%	80,000	159.4%	90,000	112.5%

以上